

令和3年度 文学部国際教育学科 学校推薦型選抜（一般）講評

■設問 I

〈出題意図〉

設問 I の題材は子どもの好奇心について書かれた **The Guardian** のコラムである。筆者は、教育現場では子ども達の好奇心から来る様々な疑問・質問を歓迎せず、きちんと座って学習する態度を奨励する傾向があることについて懸念を示している。また、発達段階が進むにつれて子ども達の好奇心は損なわれていると指摘している。しかし、好奇心旺盛な子どもの方が学習パフォーマンスが良好であるという研究エビデンスに基づき、教育現場における子ども達の好奇心育成の重要性を説いている。受験生には、子どもの好奇心の重要性を考察しながら教育のあり方について考える機会と批判的思考力を身につけてほしいと願い、この文章を出題した。

〈評価のポイント〉

問 1

英語の長文を、内容を理解しながら最後まで読むことが出来ているかどうかをみた。

問 2

筆者が最も強調している点を正確に読み取ることができるかどうか、また文脈から適切な英語を推測できるかどうかをみた問題である。与えられた時間の中で、求められた情報をすばやく探すことが出来るかをみた。

問 3

本文の内容を読み取り、日本語で誤字脱字なく、簡潔に筋道立ててまとめる力があるかどうかをみた。

問 4

自分の考えについて根拠（例）を挙げながら、まとまりのある英文で自分の意見を述べる事が出来るかどうかをみた。また、合わせて、文法力、語彙力、スペリング、などの英語の知識についてもみた。

〈採点講評〉

問3

学校が子どもの好奇心を奪ってしまっているため、もっと好奇心を伸ばすような教育に転換させていくべきだとする筆者の主な主張については、よく記述できている解答が多かった。一方で、その主張の根拠が示されていない解答も散見された。全体として、長文を要約することに慣れていない様子が見受けられた。

問4

「これまでの学校での経験を踏まえて、例を挙げながら」自分の意見を書くことを求めた問題であるが、独自の体験談を挙げながら論述できていた解答は多くなく、特に根拠も示さないままありきたりな一般論を展開する解答も見られた。英文法上の誤りも多く、冠詞や単数形・複数形、時制などの基本的な文法を習得しているかどうかで点差が生じた。

■設問II

〈出題意図〉

教育学の古典とも言える二つの書籍からの抜粋を読み、難解・古風な単語や言い回しに惑わされずに英文の主旨を読み取る力、およびそれぞれの筆者の立場の違いを見分ける力を主に問うた。[A]の文章では、日本語に訳しにくい“sense of wonder”という言葉を理解し自分なりに日本語で表現できるかどうか、[B]の文章では、やや難解な構文の英文でも“seeds of knowledge, of virtue, and of piety”と“actual knowledge, virtue, and piety”の差が文章のポイントになっているという理解できるかどうか、が重要な点となる。時代や地域を超えて先人たちが語ってきた教育論に触れることで、教育の本質を見つめようとするものの奥深さを知り、教育への探究を深める機会になってほしいと願い、出題した。

〈評価のポイント〉

[A]と[B]それぞれの文章の主なポイントを理解し、端的な日本語で表現できるかどうかをみるとともに、[A]と[B]で示されている子ども観の違いと自身の考えを英語で表現できるかどうかをみた。

〈採点講評〉

問1

子どもの世界は新鮮で美しく、ワクワクする気持ちで溢れているが、そうした気持ちは大人になる頃には失われてしまう、という概要を適切に示している解答が多かった。一方で、“sense of wonder”という表現を和訳することが難しいからか、“fresh”や“beautiful”といった平易な単語だけを訳す形で解答を書き、文章の重要なポイントを落としてしまっている解答もあった。

問2

文章の概要を適切に日本語でまとめられている解答は少なかった。特に“virtue”という単語の意味を捉えられていない解答、“seeds of knowledge, of virtue, and of piety”と“actual knowledge, virtue, and piety”の差を捉えられていない解答、及び“it is only by a proper education that”という構文を理解できていない解答が散見された。

問3

問1と問2には解答できている場合でも、問3で求められている文章[A]と[B]の違いの説明が示せていない解答が少なくなかった。また、文章[A]とも[B]とも関係のない、独自の教育論を展開する解答もあり、事前に練習してきたテーマに関する英文しか書けない者と、与えられたテーマについて即興的に英文で書く力のある者との点差が大きくなった。